

2月の母子健康案内 お気軽にご相談下さい

健康課 ☎725・5422 FAX725・5198

Table with columns: 事業名, 会場, 開催日, 時間, 対象, 内容. Includes events like 'もうすぐママ・パパのためのふれびよクラス' and '離乳食講習会'.

健康づくり



町田市食育推進計画策定記念講演会

町田市市民フォーラム

内①いっしょに食べるとおいしいね〜共食で心を育む②町田市食育推進計画〜食の「わ」で育むまちの未来

町田市市民フォーラム 4時30分 2月18日(火)午後2時〜

普通救命講習会

町市内在住、在勤、在学の15歳以上の方

2月22日(土)午前9時〜正午

健康福祉会館

内心肺蘇生法、異物除去法、AED操作法

定30人(抽選)

費1400円

甲往復ハガキに講習会名・開催日・住所・氏名(ふりがな)

電話番号を明記し、2月7日まで(必着)に健康課(〒194-0013、原町田5-8-21)へ。

町田消防署 ☎722・0119、町田市健康課 ☎725・5471 FAX725・5198



募集

町田市民文学館

嘱託職員(学芸業務)

対学芸員の資格を有する方(2014年3月31日までに取得見込みを含む)1人

採用4月1日以降

勤務時間午前8時30分〜午後5時15分、月16日(土・日曜日、祝日を含む)

内文学館・図書館・施設貸出・文学館運営に関する各業務

等 選考書類(作文、面接(書類合格者のみ))

甲募集要項(同館に有り、町

町市ホームページでダウンロードも可)を参照し、応募書類に記入のうえ、2月7日午後5時まで(必着)に同館へ。

同館 ☎739・3420 FAX739・3421

町田市民病院臨時職員

薬剤師・看護補助

対①薬剤師資格を有する方1人②看護補助1若干名

採用2月予定(採用時期は、相談のうえ決定)

勤務時間①月〜金曜日午前9時〜午後4時、週5日②午前7時〜午後3時、午後0時30分〜9時(土・日曜日、祝日を含む二交替制)

選考書類・面接(書類合格者のみ)

甲電話連絡のうえ、履歴書を2月7日まで(必着)に、郵送で町田市民病院総務課(〒194-0023、旭町2-15-41)へ。

町田市民病院総務課 ☎72

2・2530(内線7414) FAX720・5680

南第3高齢者支援センター職員(常勤)

詳細は(社福)創和会 ☎720・2202へお問い合わせ下さい。

町田市スポーツ推進委員

市のスポーツイベントの運営協力や、スポーツ指導などを通じて、町田市のスポーツ振興を図る町田市スポーツ推進委員を募集します。

対市内在住の18歳以上の方2人

任期4月1日〜2016年3月31日

選考書類、論文、面接(2月16日実施)

甲募集要項を閲覧のうえ、所定の履歴書と論文(テーマは町田市における地域スポーツの振興のためにスポーツ推進委員として取り組みたいこと、400字詰め原稿用紙2枚以内)を、2月4日まで(消印有効)に直接または郵送でスポーツ振興課(市庁舎10階、〒194-8520、森野2-2-22)へ。

高年齢者福祉課 ☎724・2146 FAX050・3101・6180

国際版画美術館ボランティア美術館コンシェルジュ

美術館についての説明や館内での誘導等を行います。

対次の要件をすべて満たす方15人程度 ①美術館の活動に関心がある18歳以上の方で、活動前の研修に出席できる②パソコン・携帯メールアドレスまたはFAXを持って③体力に自信があり、来館者と積極的に話ができる④このボランティアを経験したことがない

※交通費等の支給はありません。

日「吉例浮世絵大公開」三代豊国と歌川派展(3月8日〜30日)、「パプロ・ピカソ」版画の線とフォルム展(4月12日〜6月15日)の会期中の土・日曜日、祝日のうち10日程度(1日につき、3時間30分を基本)

場同館

甲ボランティア募集チラシ裏面の応募用紙(同館、イベントスタジオ「市庁舎1階」)に有り、同館ホームページでダウンロードして下さい。

4月26日(予定)に行われる生涯学習センター利用者交流会の内容の企画・運営委員を募集します。

対市内在住、在勤、在学の方

日2月4日〜4月15日の隔週火曜日午後6時〜8時、全6回

場生涯学習センター

甲電話で生涯学習センター(☎728・0071)へ。FAXでのお問い合わせはFAX728・0073へ。

化学物質過敏症を ご存じですか?



消費生活センター ☎725・8805 FAX722・4263

私たちは朝、目覚めてから夜眠るまで、毎日実にさまざまな化学物質を触り、その臭いを嗅ぎ、時に食しています。

まるで化学物質の中に身を置いているような生活を送っています。それらの化学物質に鋭敏に反応することで、体調不良になってしまう病気が「化学物質過敏症」と言われるものです。

その症状は実に多様です。私たちの身の周りには、住宅建材や家具・殺虫剤・消臭剤・芳香剤・洗剤・柔軟剤・化粧品・残留農薬・食品添加物・ラップ・プラスチック類等、とても多くのものに化学物質が使われています。これらが要因となり、過敏症状が起きてしまうのだそうです。

環境省は昨年夏、女性向けクールビズとして使用を提案していた制汗剤、香り付き柔軟剤、冷却スプレー、汗拭きシート(4点について)、「科学的な因果関係は十分解明されていない」としながらも、「化学物質に敏感な人への配慮が必要だった」として、その提案を取り消しました。

現代は、化学物質の出現により、快適で便利な生活を送ることができるようになりました。しかしその一方で、これらの化学物質によって体調を崩してしまう人がいることも事実なのです。

日々の生活で意識しましょう 室内の換気を十分に行う、ストレスをためないよう、心掛ける